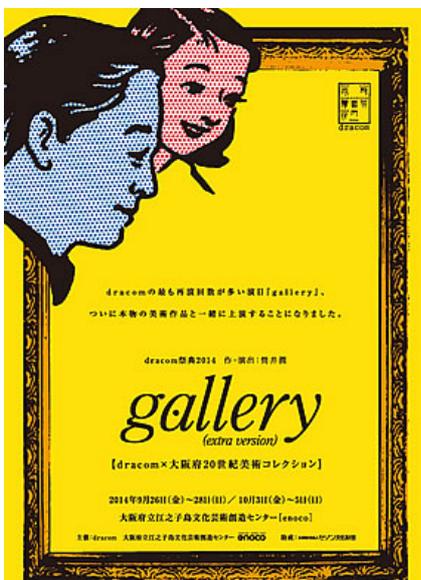


イベント 展示 9.26-28 / 10.3-5

dracom×大阪府20世紀美術コレクション
dracom祭典2014 「gallery (extra version)」

[トップ](#) >> [アーカイブ](#) >> [dracom×大阪府20世紀美術コレクション](#) [dracom祭典2014](#) [gallery \(extra version\)](#)

このページの情報は、終了した事業に関するものです。



enocoでは、単に展示をするだけではない美術作品コレクション活用の新しい形を模索するなかで、さまざまなジャンルとのコラボレーションを試みています。今回コラボレーションするのは、大阪・北摂を拠点とする演劇集団、dracom（ドラカン）。

blanclass(横浜,2011)での初演以来、ウィングフィールド(大阪, 2011)、枝光本町商店街アイアンシアター(北九州, 2012)、Social Kitchen(京都, 2013)など劇場の内外で上演され、好評を博してきた作品を、本物の美術作品が並ぶ展示室で上演します。美術作品を鑑賞する人々を描いたこの作品は、音声ガイドによる作品解説の声に導かれてストーリーが展開します。enocoでの上演にあたり、学芸員の解説とともに「大阪府20世紀美術コレクション」の作品を鑑賞しながら鑑賞者の声を集める全3回のワークショップ「『gallery』の声」を行ってきました。本公演は、ワークショップ参加者の感想を再構成し、作・演出した、エキストラ・バージョンとなります。

人は芸術とどう関わっているのかを美術作品と演劇のコラボレーションで検証する、ユニークな公演となることでしょう。

また、公演の舞台となる展示室は、展覧会として公開されます。

会期中に限り、今回の公演のために創作され、実際に劇中でも使用されている音声ガイドの声を聞きながら作品を鑑賞することができます。公演とあわせてお楽しみください。

作・演出：筒井潤

出演：鎌田菜都実・キタノ万里・筒井潤・村山裕希（以上dracom）
岩崎小枝子・内山大・小坂浩之

舞台監督：幸せ工務店（黒飛忠紀 中村敬亮）/音響装置制作：米子匡司/音響協力：あなみふみ/宣伝美術：三澤敏博（絡線堂）/制作：dracom制作部/制作協力：尾崎雅久（尾崎商店）

主催：dracom・大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]

助成：セゾン文化財団

平成26年度（第69回）文化庁芸術祭参加公演

公演概要

公演日時：9/26（金）19:30

9/27（土）15:00★/19:30

9/28（日）16:30☆

10/3（金）19:00★

10/4（土）15:00★/19:30

10/5（日）11:00

*開場は開演30分前 *各回定員25人

★終演後ポストパフォーマンストークあり
9/27 15:00 富田大介
(大阪大学大学院国際公共政策研究科稲盛財団寄附講座特任講師、美学・身体文化研究)
10/3 19:00 森山直人 (演劇批評家、京都造形芸術大学舞台芸術学科教授)
10/4 15:00 enocoスタッフ (詳細は後日HP等でお知らせします)
☆ざろんさん・特別編&交流会

会場：大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco] 4Fルーム1

料金：一般：前売2,500円/当日2,800円
学生：前売2,000円/当日2,300円
※全席自由席

チケット予約・お問合せ

dracom制作部：(web予約) <http://dracom-pag.org> (E-mail) info@dracom-pag.org
江之子島文化芸術創造センター [enoco]：(Tel) 06-6441-8050 (E-mail) art@enokojima-art.jp

関連プログラム

「ざろんさん」特別編&交流会

9月28日(日) 18:30~20:30 @地下1Fカフェ横スペース

参加費：500円(軽食、ワンドリンク付)

関西で上演される舞台作品の話題を参加者同士でシェアする茶話会企画「ざろんさん」特別編と交流会を行います。どなたでもご参加ください。

→[「ざろんさん」Facebookページ](#)

dracom×大阪府20世紀美術コレクション特別展 『gallery』の声

9月30日(火)~2日(木) 13:00~18:00 @4Fルーム1 (入場無料)

『gallery』の上演にあわせ、大阪府20世紀美術コレクションの中から油彩、版画、写真、立体を中心に約30点の作品が選定されました。また会期中に限り、今回の公演のために創作され、実際に劇中でも使用されている音声ガイドの声を聞きながら作品を鑑賞することができます。公演とあわせてお楽しみください。

出品作家(予定)：浅野竹二、齋藤真成、エドワード・ウェストン、李禹煥、前田藤四郎ほか

dracomとは

1992年旗揚げ。劇団名は、前身となった「劇団ドラマティック・カンパニー」の略であるとともに「drastic communication (猛烈な交信)」の意味を持つ。「dracom祭典」として年に1度の本公演を行う。代表作に、俳優がサイコロを振ってセリフの担当を決める『空腹者の弁』（1997）、上演時間が20時間に及ぶ『Green』（2003）、「ハムレット」をネット検索して集めた内容をコラージュした『特集・ハムレット』（2004）、録音されたセリフとその内容を演技する俳優の身体がずれる『もれうた』（2007）、『ハカラスモ』（2008）、『事件母 (JIKEN-BO)』（2010）、キャンプ用テントで上演した『方々ノ態 (in OSAKA, Kitakagaya)』（2013）など。フェスティバル/トーキョー公募プログラム（2010年）、えだみつ演劇フェスティバル（2012年）参加。

<http://dracom-pag.org>

作家プロフィール

筒井潤 (演出家/劇作家/パフォーマー)

2007年dracom『もれうた』で京都芸術センター舞台芸術賞受賞。2014年セゾン文化財団セゾン・フェロー。dracomでの劇作・演出の他に、演劇計画2008 (ソン・ギウン作『小説家仇甫氏と京城の人々』リーディング演出)、高槻シニア劇団、桃園会、We dance、Dance Fanfare Kyoto、Dance Box『新長田のダンス事情』などのプロジェクトやグループに関わり、山下残、松田正隆/マレビトの会、きたまり/KIKIKIKIKIKI、松本雄吉/維新派、羽鳥嘉郎などの作品に出演。

「ポスト・パフォーマンス・トーク」 ゲストのプロフィール

森山直人（もりやま・なおと）

演劇批評家。京都造形芸術大学舞台芸術学科教授、同大学舞台芸術研究センター主任研究員、機関誌『舞台芸術』編集委員。KYOTO EXPERIMENT（京都国際舞台芸術祭）実行委員長。著書に『舞台芸術への招待』（共著、放送大学教育振興会）、主な論文に『沈黙劇とその対部—あるフィクションの起源をめぐって』『〈ドキュメンタリー〉が切り開く〈舞台〉』など。

富田大介（とみただいすけ）

大阪大学大学院国際公共政策研究科 稲盛財団寄附講座 特任講師、美学・身体文化研究。近年はR・ショピノ、J・ベルの作品に出演。主な論考に「土方巽の心身関係論」（『舞踊学』第35号）等がある。現在、京都芸術センター通信「明倫art」においてダンスレビュー欄を担当。また、2014年度大阪大学アート・フェスティバル人材育成事業では「AIR（アーティスト・イン・レジデンス）」のプログラムを担当。

| | | | | | |
|---------|--------------|----------------------------------|-----------------|------|---|
| サイトポリシー | > enocoについて | > クリエイティブルーム | > enocoのプロジェクト | ツイート | ^ |
| 指定管理者 | > フロアガイド | > サポーター募集 | > enocoの学校 | | |
| バナー広告募集 | > enocoのつかい方 | > メールニュース登録 | > 大阪府20世紀コレクション | | |
| プレスリリース | > 空き状況 | > Q&A | > ライブラリー | | |
| | > アクセス | > お問い合わせ > プラットフォーム 形成支援事業 | > サポーターものづくりルーム | | |